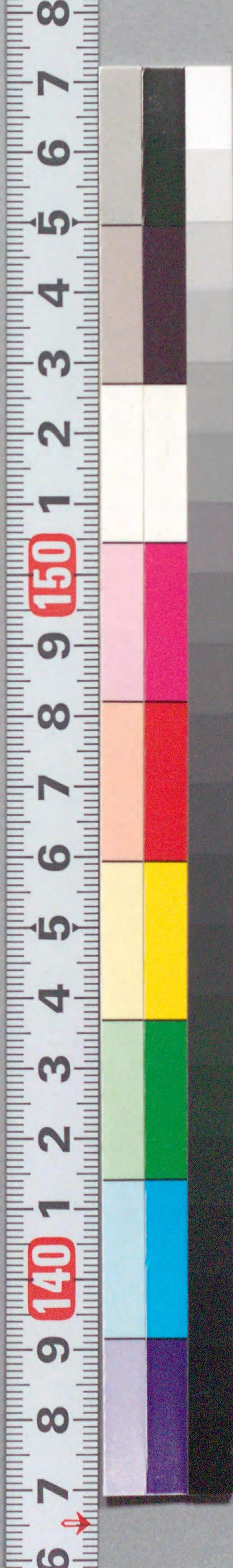




国立国会図書館 今業平昔面影 208-724



ガラス使用



笠亭作

錦朝携画

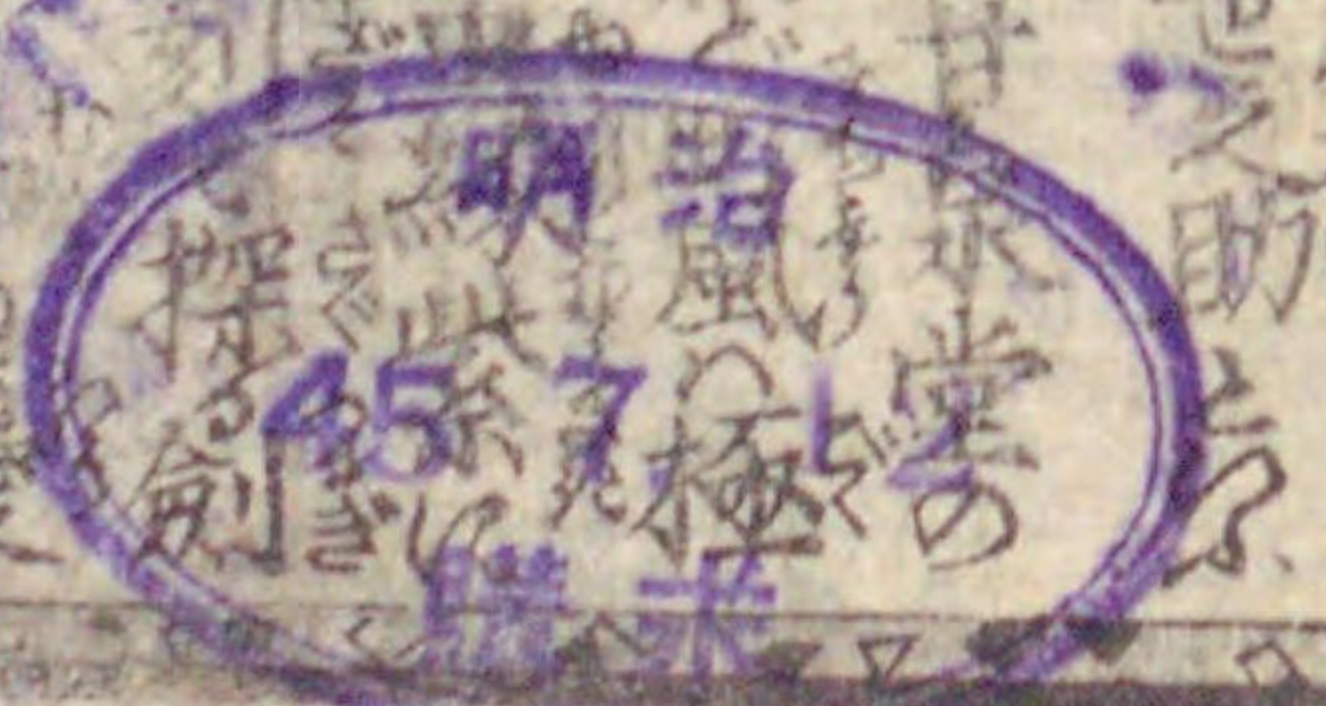
嘉永三戌春新板

今業平



昔面影初編上甘泉巻梓

都雅多男子と見て光源氏在吾君と評き世上の口癖然有執語と種と
者之設二期の盛衰奇話不此を彼撮合して腹稿撰成る甘泉堂の
今年新版是を出してのわんと云のて実然も有むと云ふは極
意棄てての味不美拙工の猶大将鬘時代そるも田舎の宵師匠の
質る方々作中易く賣中も勝ると奉柱小膝動名當を希るも宜敷く
於此趣向もなれは往々も各に案を改再彼此物の本として目下
人等源氏物語の玉川千之丞源友麿の中將の事るるれども海道下
平に打扮ねとも河内通共不入大當且かれ彼君小聲言評語の野郎
歌集鈔録ねとも皆中存トをて狂言作者の所詔南無三寶で二箇の中
小假用せんと撰源氏物語の勁々千とを似つるもこれ小定て室町
車分脈あり六胞りるも無心所者るるも膽や都夫礼石吉野乃山尔日と





業平
久米千代

せんのおもむき
千之丞
幼名
久米千代

玉川彈正伊保長久
伊登之方郷在時



むくわらう
人の子
井のこや
いぢあびり

西郎女
紅葉
後井筒
女も

田舎廻りの行客
西樹屋四郎
三河の時の







六條
三筋町
上林
阿曾
高橋



業平
若丸

久米千代元服
玉川千之丞
昔男と名を呼ぶ

女のえみ
よりの
り
かりして
女のこころ
ありそ
ゆき
わさ何と
何
あはれ





湛海禪師
義喬入道
足利

自論語の
字眼と
在中
辨

業平

五

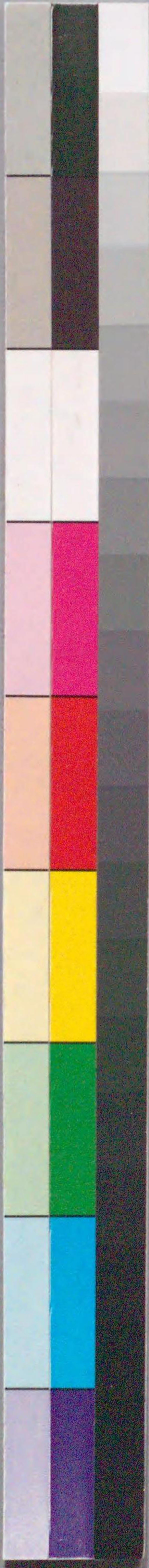


比企尼妙西

千之丞
壯年後
行状老実
人
実男と云

業平



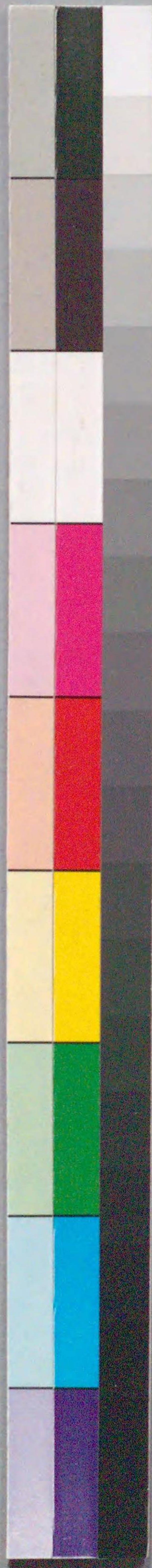


詞花言葉兼ハ又とある中へ各物語何をナリも唐紙に菊の花候本手秋
 よりやわしやものれぬ急作然彼此有書落るも強不可尋る者
 一冊と定家卿の奥書と之のすらかく漫記

嘉永三年庚戌春新販

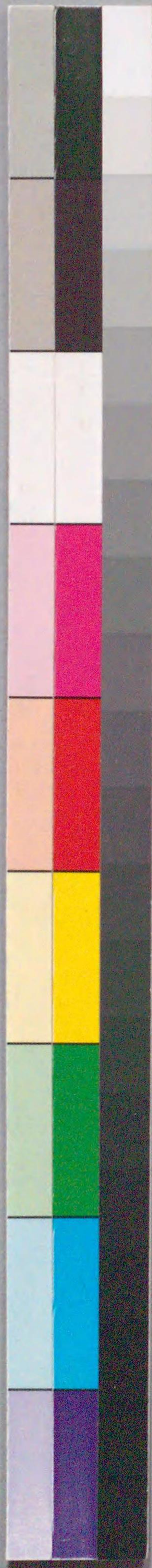
笠亭仙果











新刻

女房もおし家持もさう
曲るゝいゝゝ一陽さの
あがら

孟春

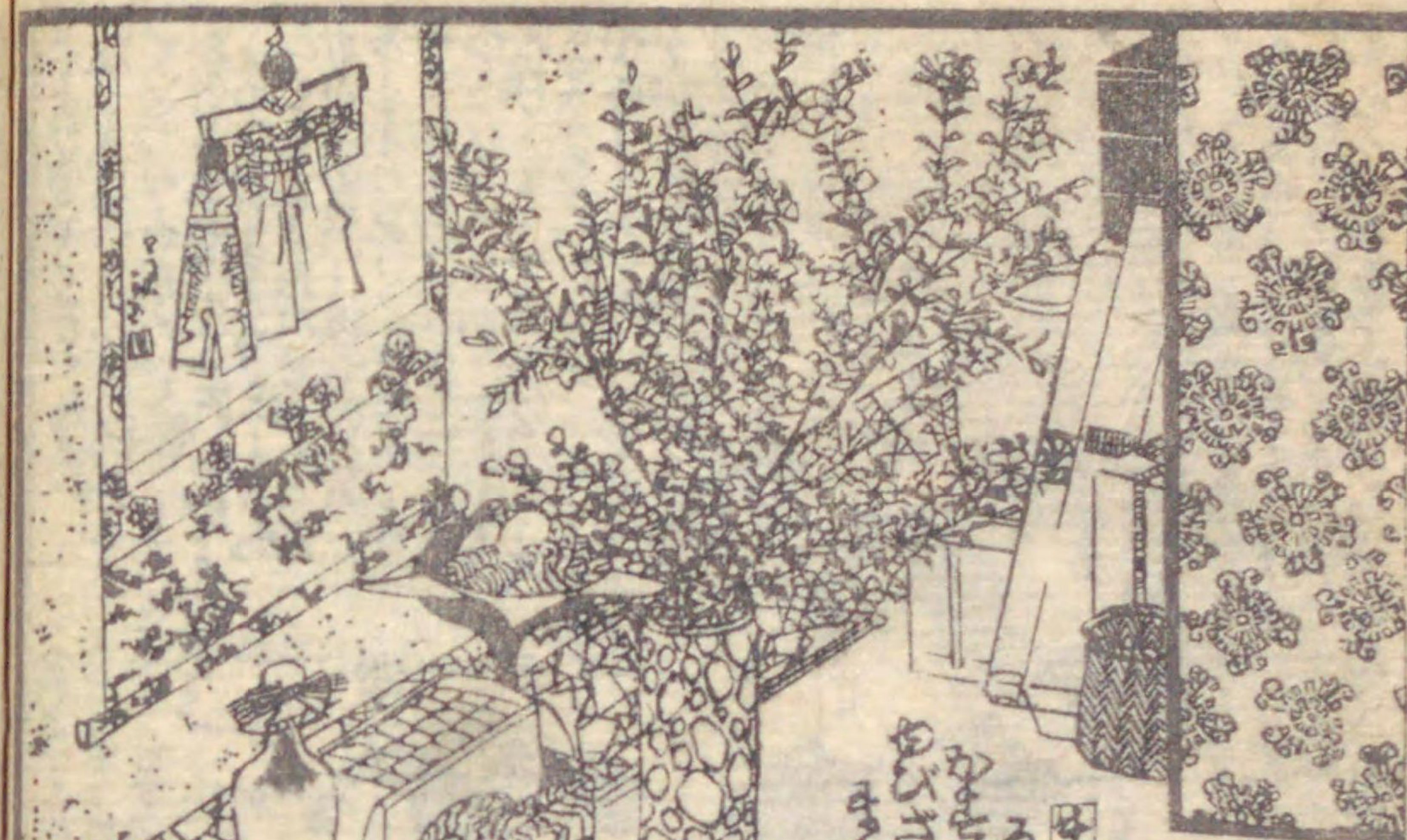
新屋人牛瓶がひ全
うきまきさく豊さゆ
あがら

戌歳

美阿勢が屋うさひ
種うぢささより一掃
あがら

嘉永

鬼心や露の物さ
柳ささく一陽富あ
あがら

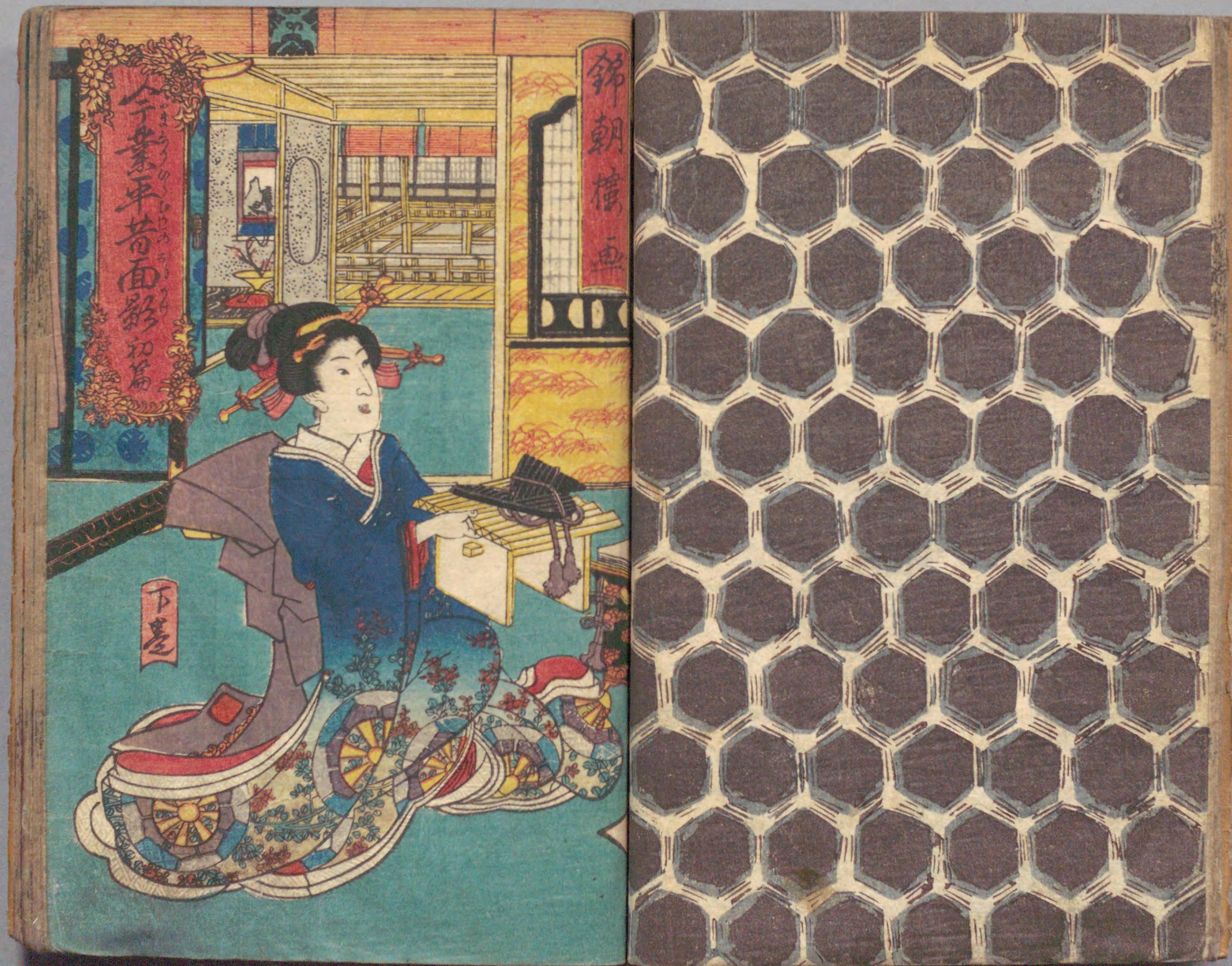


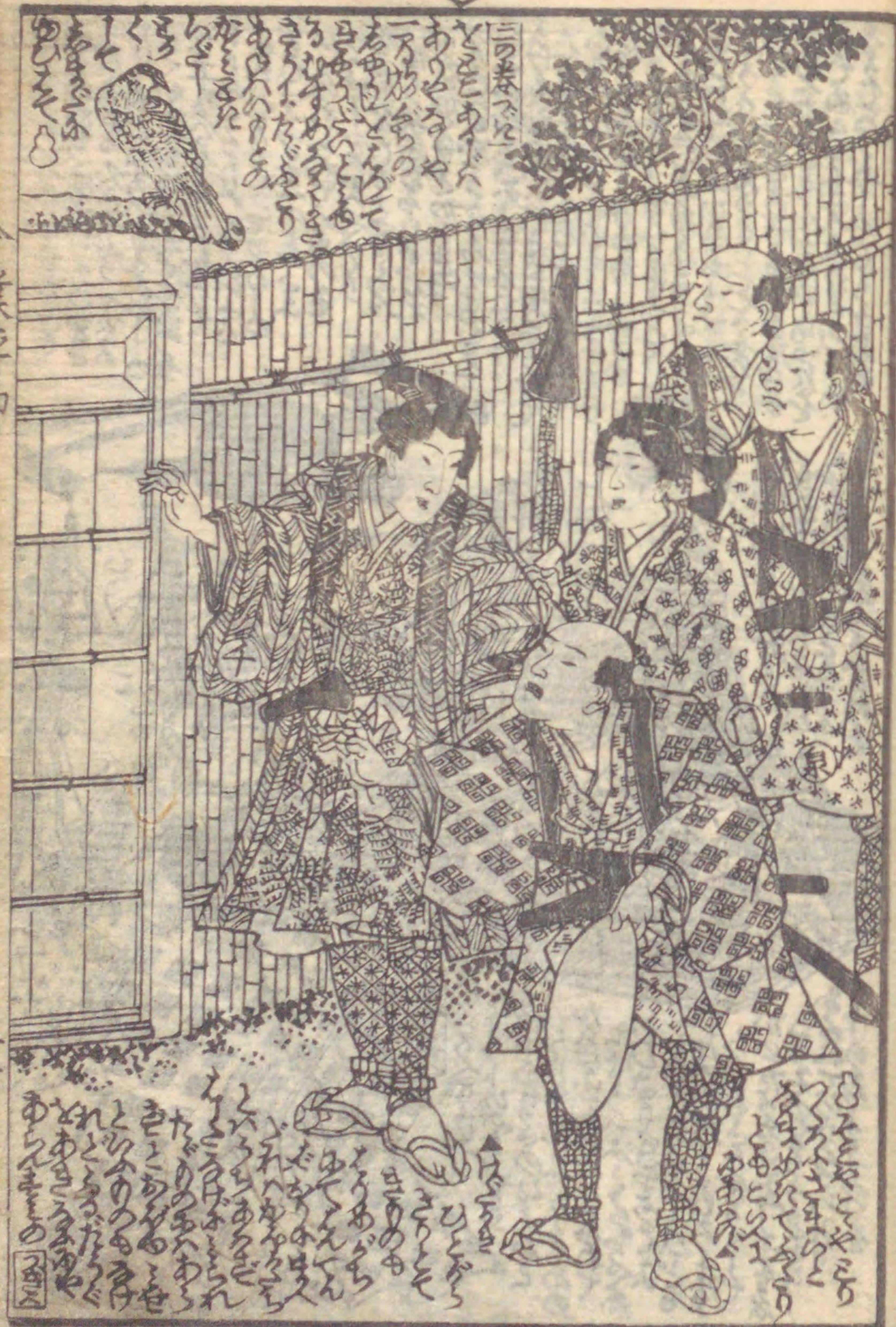
芳席画

仙果作

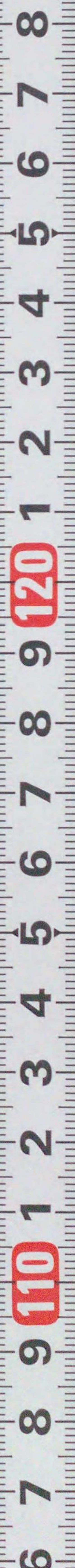
Handwritten text in a cursive style, likely a poem or commentary related to the illustration.







今業平
甘泉堂板
嘉永三
成書
白雲
和編入
笠亭化
新橋画















6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8

刻新春筆集成二永嘉

甘泉堂

芝神

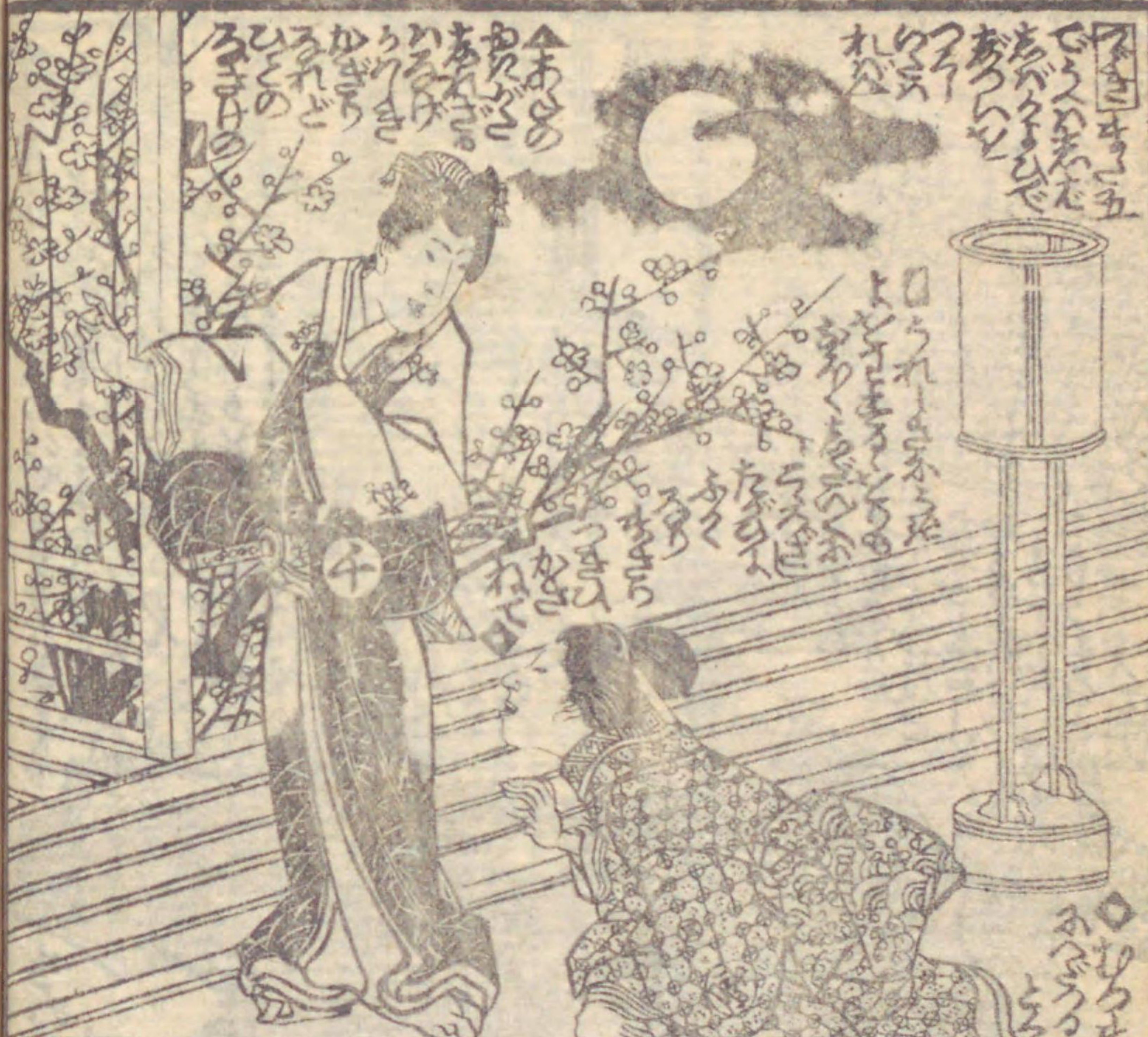
和泉堂市多街板

今業平昔面影
柳風忌法衣
如采 園
金田屋 英多 画
乃 柳生
乃 櫻

其世如月如六
源氏繪卷
俵橋彩巻
あまきり 双六たより

今業平昔面影

初編 笠字化
二編 錦絵橋画



笠亭仙果作
一猛齋芳虎画





此二編の伊勢物語月やあると業平の詠なほの四段目より業平の
 の壞処より通ひと有五段目と誰とも知る六段目及川の陸路の面影
 と採て作ける共源氏の五十四帖一貫ある續物伊勢物語百餘二十
 段計あれど一段一話の讀むるは是と用て次第と推し一列の書續て木
 と接ぎ竹鞭を狐と乗たる馬追ふ如く辻褄合ぬ事の言はれとそと
 此方か上りよりと見場と上り朱塗を葎の意の赤本小判衣を穿るるよ
 一の販品飾れとる花巻の紫海苔賣る地方の偶居ふ於て一言記さ

笠亭仙果



笠亭仙果作
 一猛齋芳虎画

芝神明前
 甘泉堂梓

今業平

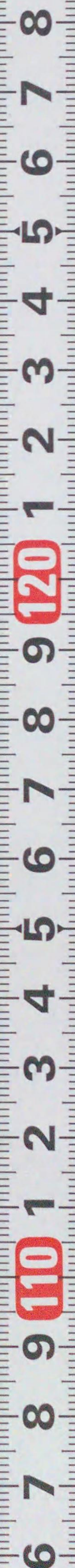
昔面影

二編上

永
 四
 春
 新
 版

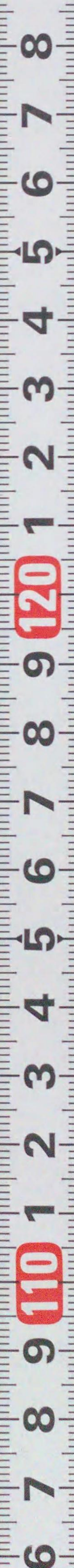














Handwritten text in vertical columns, likely a preface or introductory text, written in a cursive style.

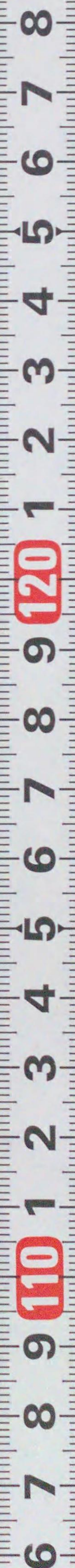


Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the top section.

Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the top section.

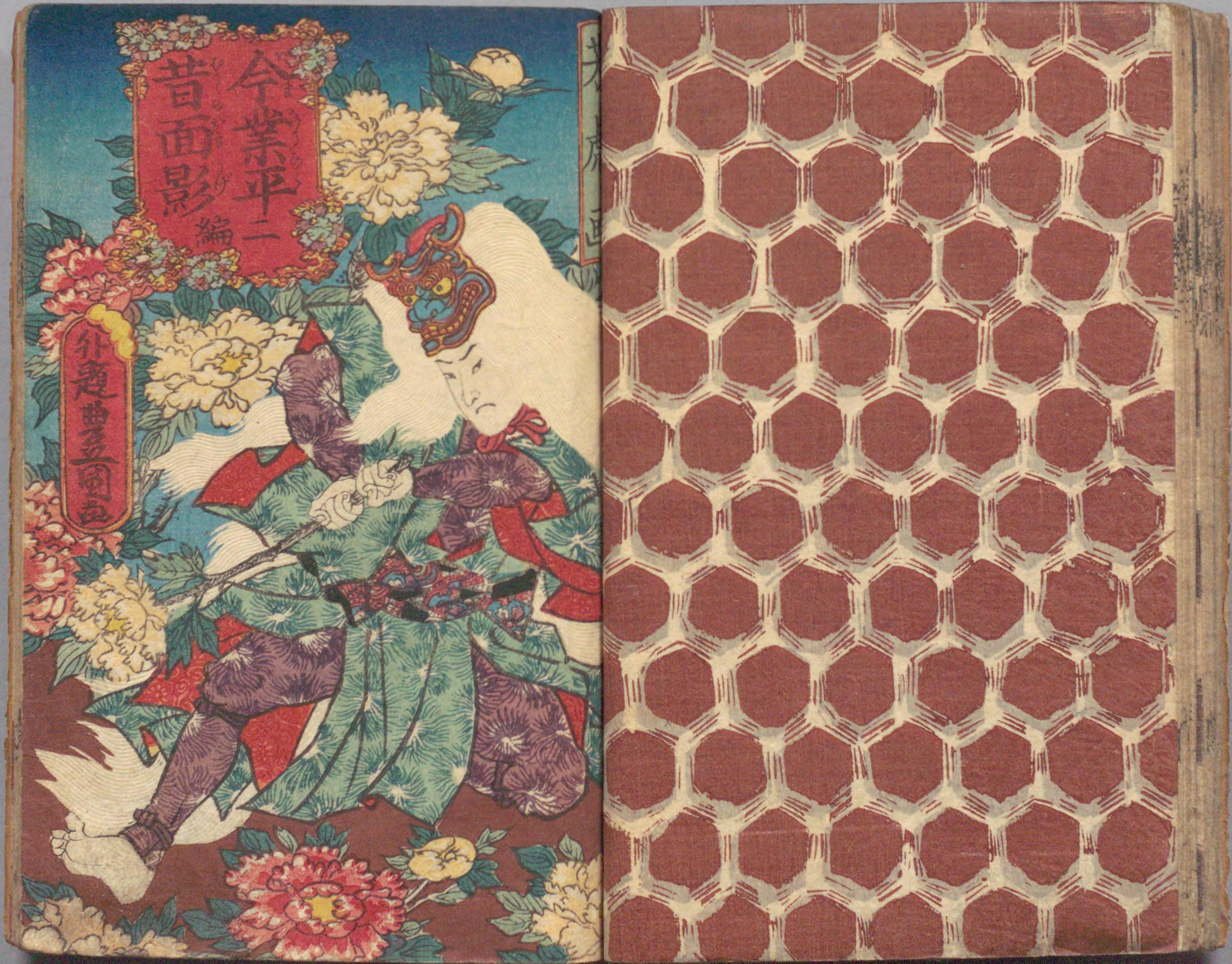


Handwritten text in vertical columns, continuing the narrative or commentary from the top section.



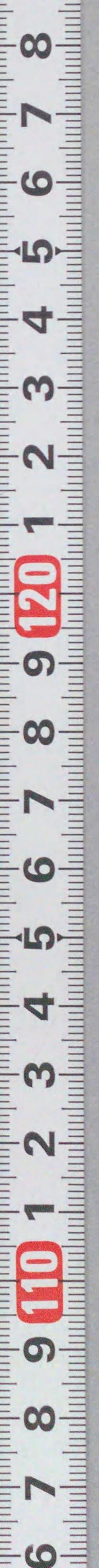


6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12





会水尾
 新獲
 嘉永四年
 二編下
 甘泉堂
 仙果化
 芳席画







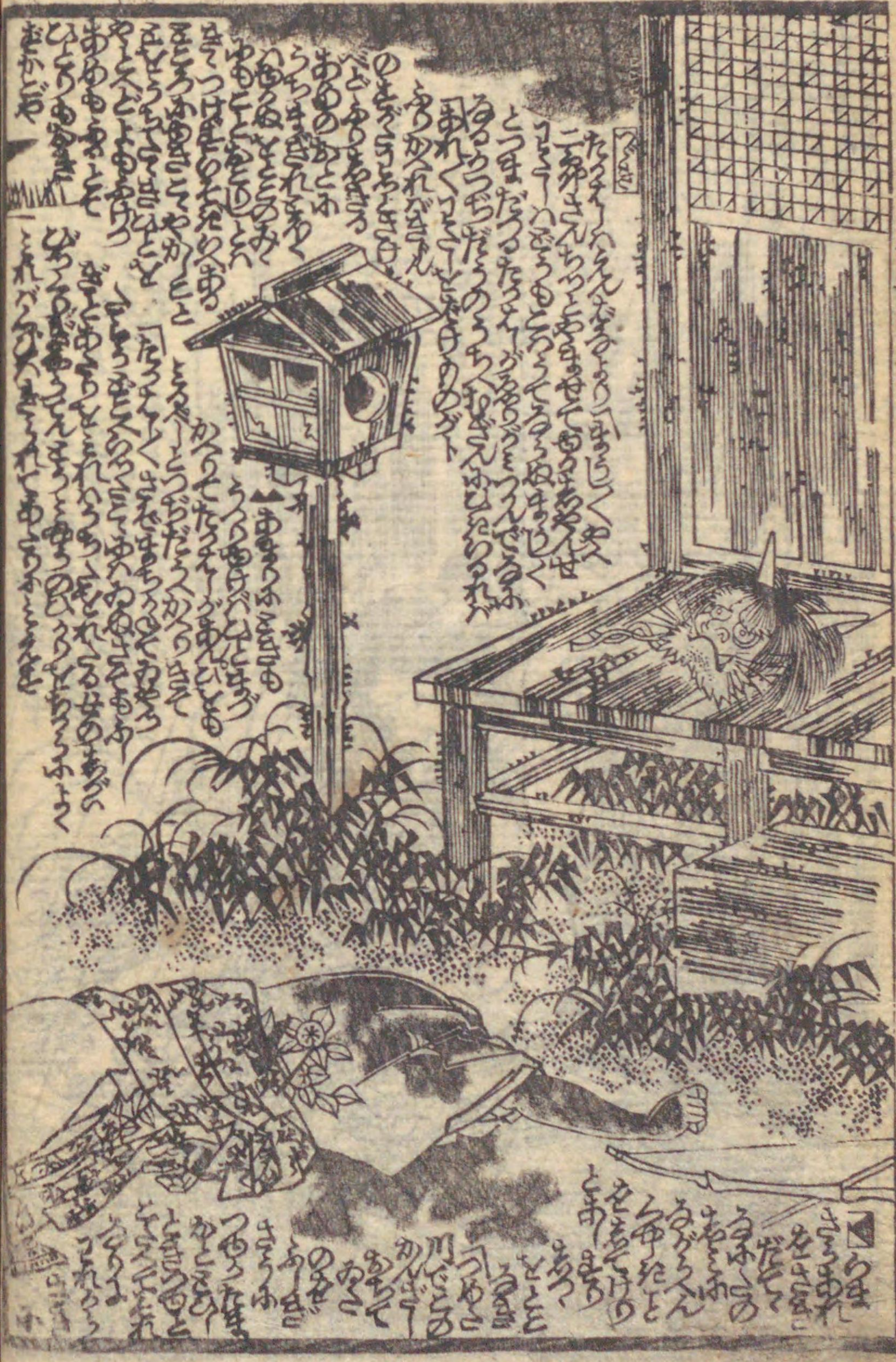




6 7 8 9 110 1 2 3 4 5 6 7 8 9 120 1 2 3 4 5 6 7 8







208
2
1724

新嘉坡四交集卷新刊

象畫

今業平昔面影
其世如月如六
傳其給言一話画
あらしり 双六
乃 遊人

和家屋市多尚板

今業平昔面影
二海 芝字化
四海 錦新橋画

芳虎画仙果作

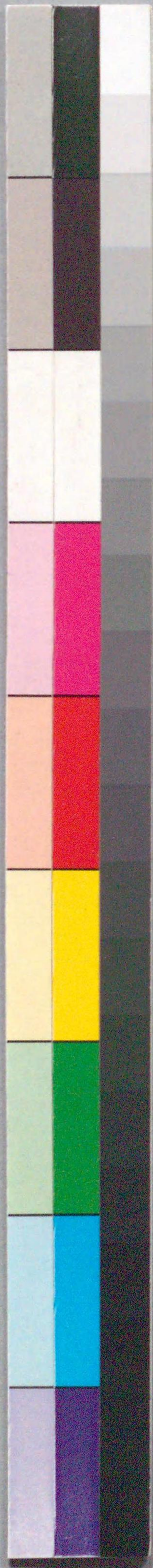


208
2
724

国立国会図書館 今業平昔廼面影 208-724

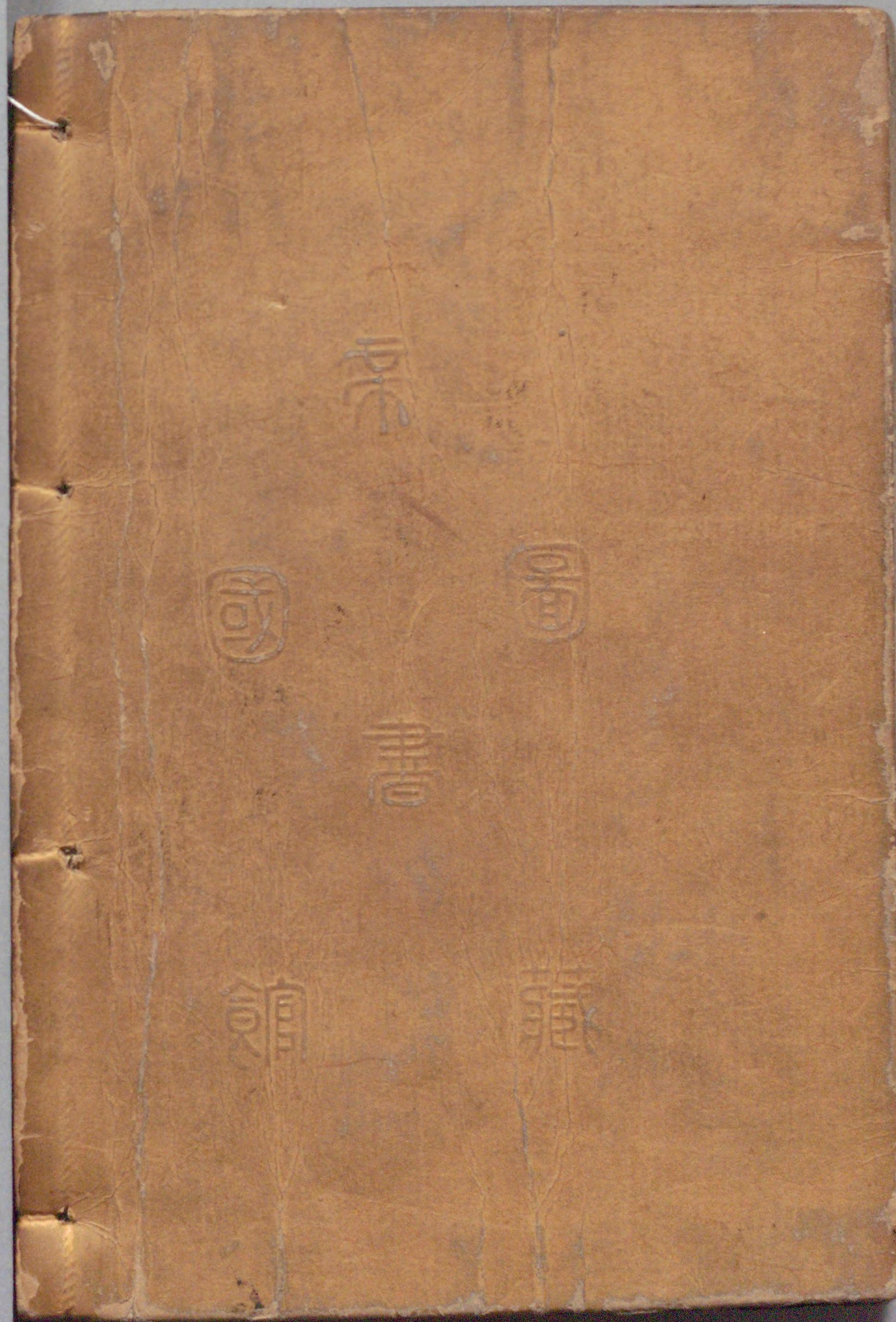
ガラス使用





国立国会図書館

今業平昔廼面影 208-724



ガラス使用

